

# 建設環境常任委員会

委員長 田中隆太郎

**問** 集合処理と合併処理の格

差是正の内容について、また、合併浄化槽設置後の維持管理費への対応は考えているか。

**答** 下水道整備に係る受益者

分担金は、一筆の土地の面積に対し一回限り1㎡について3000円を支払って頂くことになる。

なお、合併浄化槽設置後の維持管理については現在のところ考えていない。

**問** 広域水道からの受水費単

価の改定状況について

**答** 使用開始から平成12年度

までが130円、平成14年度までが118円、平成27年度までが120円となっている。

平成28年度から平成32年度までの5年間については113円を予定している。

**問** 浮島地区海底送水管整備

について

**答** 総事業費7億5千万円の

予定で平成28年度から平成31年度までの4年間で整備を予定である。

**問** 水道使用料の滞納繰越分

の内訳について

また経営戦略策定業務の内容は。

**答** 水道使用量の滞納繰越分

は、平成26年度末8,160万円、27年度中に720万円の収納を差し引いた、7,440万円となっている。

経営戦略策定業務は、公会計への移行に併せて行う業務である。

**問** 火葬場の予算計上に係る

火葬、葬儀の見込み件数は

**答** 大島斎場は、火葬が223

回、葬儀は161回である。桶斎場は、火葬が233回、葬儀は131回を見込んでいる。

**問** 民泊事業に関して、他

の地域でも同じような取り組みを始めており、競争も激しくなっていると推測する。

受人側の体制や、資質も問われることになるが、その状況は。

**答** 予算要求時点の17校から

若干増えている。平成28年度は本町を訪れる学校の59%がリピーターであり、学校や旅行会社の周防大島町の体験型教育旅行に対する評価は、高いものがあると考えている。

受入家庭の確保が高齢化により難しくなってきたため、Iターン、Uターンの方に対しても積極的に受入の促進を図っている。

**問** 「海の駅」の構想について

**答** 安下庄地区で現在月一回

実施されている「海の市」を取り込み、「海の駅」登録を目指して、基幹施設を整備する。

水産加工所。鮮魚販売施設や沖に浮桟橋を設置する予定。

**問** 有害鳥獣対策調査研究と

野生鳥獣食肉処理施設等整備事業の内容について

**答** 有害鳥獣対策調査研究は、

山口大学との包括連携によ

建設環境常任委員会



り、イノシシ被害地調査、食性把握のための調査研究を行う。

また野生鳥獣食肉処理施設は、イノシシの肉をジビエとして活用する施設の改修を対象とし、一件につき50万円で二件分の100万円を予算計上している。